

☆ 広報

うくせん

たかた

2013年(平成25年)

1月1日号

No.904

◆巻末
派遣職員紹介～蓬田次郎さん(岩手県)

ぼくたち、わたしたちは巳年生まれ

今年最初の広報の表紙を飾ったのは、竹駒小学校(伊藤清子校長、児童56人)の5年生10人。今年、年男・年女になる皆さんです。4月からは最上級生として、学校を引っ張っていきます。「勉強もスポーツも一生懸命がんばる1年にします!!!」



年頭に寄せて

陸前高田市市長 戸羽 太



平成二十五年の年頭にあたり、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

東日本大震災から一年十カ月が経過いたします。

改めまして震災により尊い命を亡くされた方、ご遺族の皆様にご心からお悔やみ申し上げますとともに、被災された皆様にお見舞いを申し上げます。

昨年は、本格的な復興に向けてのスタートの年ということで「復興元年」と位置付け、震災復興計画に基づき「災害に強い安全なまちづくり」として防潮堤整備事業や消防庁舎等建設事業、「快適で魅力のあるまちづくり」として土地区画整理事業や防災集団移転促進事業、「市民の暮らしが安定したまちづくり」として災害復興公営住宅整備事業、「活力あふれるまちづくり」として太陽光型植物工場誘致推進事業や市内各漁港の災害復旧事業、「協働で築くまちづくり」としてコミュニティホール施設整備事業など、さまざまな復興事業に着手してまいりました。

本年はさらなる復興に向け、被災者の生活再建や市街地・被災地域の復興はもとより、地域産業の再生と発展を目指し、だれもが住んでみたいと思う、心豊かに安心して暮らし、安定した生活ができるまちづくりを、震災復興計画の着実な実行により、一步一步進めていかなければなりません。

本市の復興は街並みや産業の復興で達成されるものではなく、心の復興こそが真の復興であると強く思っております。将来に向けて希望と安心のもてる新しい陸前高田市の実現に向けて国、岩手県はもとより市民、事業者との協働・連携、また、これまでの全国の皆様との「絆」を大切にしながら、心豊かに安心して暮らせるまちづくりに全力で取り組んでまいります。

結びに、本年も市政に対するご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様にとりまして幸多き年となりますようご祈念申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

● 第一中学校敷地内で診療しています ●

岩手県医師会高田診療所

1月の診療日程

岩手県医師会では、第一中学校体育館西側に診療所を開設しています。1月の診療日程は下表のとおりです。

期 日	診療（受付）時間	診 療 科
1月10日（木）	15:00~18:00	内科系、外科系、小児科
1月12日（土）	15:00~18:00	内科系、小児科、心療内科
1月13日（日）	11:00~16:00	内科系、外科系、小児科、耳鼻咽喉科、眼科、皮膚科、心療内科
1月14日（月）	11:00~16:00	内科系
1月16日（水）	15:00~18:00	小児科、泌尿器科、皮膚科（要予約）
1月17日（木）	15:00~18:00	小児科
1月19日（土）	15:00~18:00	小児科、心療内科
1月20日（日）	11:00~16:00	内科系、小児科、耳鼻咽喉科、眼科、皮膚科、心療内科
1月23日（水）	15:00~18:00	小児科、皮膚科（要予約）
1月24日（木）	15:00~18:00	内科系、外科系、小児科
1月26日（土）	15:00~18:00	内科系、小児科、心療内科、子どもの心
1月27日（日）	11:00~16:00	内科系、外科系、小児科、耳鼻咽喉科、眼科、皮膚科、心療内科
1月30日（水）	15:00~18:00	外科系、小児科、皮膚科（要予約）
1月31日（木）	15:00~18:00	小児科、泌尿器科

※1. 子どもの精神的なサポートを目的として、県内外の専門医による「子どもの心のケア」の診療科を開設しています。原則として事前予約制になりますので、当診療所に問い合わせください。

※2. 診療科は、日によって異なります。また、都合で変更になる場合があります。

詳しくは、高田診療所（☎53-2110）まで。※診療日のみ通話可

■ 1月の就職支援相談会 ■

ハローワークでは、下表のとおり就職支援ナビゲーターによる就職支援相談会を開催します。

この相談会での相談は、雇用保険受給者の失業認定申告書の「就職活動」に該当します。雇用保険受給資格者証を持っている人は、提示をお願いします。

▽相談内容 就職相談、情報提供、雇用保険失業給付手続方法、または職業訓練受講給付金を受給しながらの職業訓練の案内など。

開催日時	開催場所
1月11日（金）10:00~12:00	矢作小学校仮設団地集会所
1月15日（火）9:30~11:30	モビリアセンターハウス
1月15日（火）13:30~15:00	高田高校仮設団地集会所
1月18日（金）10:00~12:00	米崎小学校仮設団地集会所
1月22日（火）9:30~11:30	横田中学校仮設団地（5-5号室）
1月22日（火）13:30~15:00	米崎中学校仮設団地談話室
1月25日（金）10:00~12:00	矢作小学校仮設団地談話室

詳しくは、ハローワーク大船渡就職支援ナビゲーター（☎27-4165）まで。

人形劇グループ「ポレポレ」結成20周年記念事業

ポレポレ人形劇公演 三枚のおふだ

人形劇グループ「ポレポレ」では、下表のとおり結成20周年記念事業を行います。

開催日時	開催場所
1月19日（土）午前10時開場、午前10時30分開演	竹駒コミセン
1月26日（土）午前10時開場、午前10時30分開演	モビリア北集会所
2月 2日（土）午前10時開場、午前10時30分開演	高田町和野会館

詳しくは、人形劇グループ「ポレポレ」代表馬場（☎090-6782-2961）まで。

小学生の代表が復興などをテーマに市長と論戦



市長に素朴なギモンをぶつけてみよう―十一月二十九日、市内九つの小学校から二人ずつ合計十八人が、市長と児童の語る会に臨みました。子どもたちの関心事はやはり復興。大人顔負けの意見も続出した語る会の一部を紹介します。

今年の語る会のテーマは「こんな陸前高田になったらいいな」。震災からの復興が

主な論点になりました。奇跡の一本松の活用や公共施設の建設、高田松原の再生

など、行政が抱えている諸課題について、児童からさまざまの提言が出されました。



まつもと えみ実さん
高田小（6年）

「一本松を今後どのように生かしていきますか。歩道を広くし、建物はバリアフリーにしてください」



むらかみ みどり緑さん
気仙小（6年）

「図書館やショッピングセンターなどを建てる予定はありますか。お年寄りが元気に過ごせるまちになってほしい」



ささき りき己くん
長部小（6年）

「市営球場の建設予定はありますか。長部地区がまた漁業や養殖の盛んなまちにのみがえってほしい」



むらかみ こう康くん
高田小（6年）

「陸前高田市をどのようなまちにしたいですか。ぼくはスポーツが盛んなまちになってほしいと願っています」



ちば あかね茜さん
気仙小（6年）

「図書館の再建はいつごろになりますか。かつて避難所だったところも浸水しているの、位置を見直してほしい」



わだ ひなた陽さん
長部小（6年）

「高田松原は復活するのですか。堤防はいつできますか。ソーラーパネルの街灯を設置し、安全に歩きたい」



佐々木 倭くん
広田小 (6年)

「野球をしています。遠征ではなく市内で試合がしたい。早くマイホームに住めるようにしてほしい」



吉田 怜央くん
広田小 (6年)

「広田保育園をもっと高台に移してほしい。今後どんな災害があっても死者を出さないまちになってほしい」



金野 祐亮くん
小友小 (6年)

「自然がいっぱいで人にやさしいまちにするため、風力発電の実現と、高田松原の植林ボランティアをしたい」



むらかみ 敏希くん
小友小 (6年)

「安心して暮らすため、防潮堤や道路、住宅地を早く整備してほしい。募金活動を行い、市の復興に役立てたい」



おの 徳斗くん
米崎小 (6年)

「みんなが安心して暮らし、人がたくさん集まるようにスポーツ施設やショッピングセンターを建設してほしい」



ささき みそらさん
米崎小 (6年)

「高田松原を元どおりにして、きれいな海で泳ぎたい。3.11を忘れないように、体験談をまとめて文集にしたい」



さいとう ひろひろくん
矢作小 (6年)

「しっかりとした防潮堤をつくり、三百メートルに避難路を整備することによって、津波から命を守るまちになってほしい」



うめき ゆいさん
矢作小 (6年)

「以前のように海岸を整備して、たくさん松が広がる高田松原を復活してほしい。そのためにごみ拾いから始めたい」



おい 佑樹くん
竹駒小 (6年)

「さまざまな災害で大切なものを二度と失わないよう、防災に優れたまちにしてほしい」



おおさか あゆみさん
竹駒小 (6年)

「歩道には点字ブロックを、信号機は音声案内に、公共施設にはユニバーサルデザインを取り入れてほしい」



かのん けいくん
横田小 (6年)

「震災で家や職場を失った人が多いので、市民が働ける場所をつくってほしい。」



やすだ ともよさん
横田小 (6年)

「震災で公園や図書館などが人が集まって楽しむ場所がなくなってしまったので、それらの整備を進めてほしい」

皆さんの質問・意見に必ず答えます(要約)



戸羽 太市長

復興については、被災者の皆さんが一日も早く住宅を整備できるよう、市職員が一丸となって取り組んでいるところです。防災については、防潮堤やメモリアル公園の整備に向けて国・県・市が連携して検討を進めています。自然エネルギーについては、太陽光発電の整備を民間の支援をいただきながら実施する予定です。福祉・雇用については、高齢者も障がい者もノーバライゼーションという言葉さえ意識しなくてもいいくらい、住みよいまちづくりを進め、企業誘致と合わせ、起業を支援する仕組みをつくり、若者が地元に残れるようにしたい。漁業の復興につ

いては、将来予想される食糧難に対応できるように、水産物を提供できるまちにしたいと考えています。スポーツの振興については、施設の整備はもとより、パラリンピックの合宿誘致などにも取り組んでいきたいです。市長になろうとした理由は、大好きな陸前高田をよりよいまちにしたかったからです。被害のあった広田保育園は、安全な場所に移設します。高田松原の再生には長い時間がかかりますが、皆さんにもぜひ苗植えを行っていただきたいと思いますね。

小学生の皆さんが真剣にまちづくりについて考えていることに感謝しています。十年後には、皆さんが先頭に立ってまちづくりを行ってください。これからも皆さんの考えや意見を聴かせてほしいと思います。

国民健康保険と後期高齢者医療保険の決算状況

国民健康保険・後期高齢者医療保険は、市民の皆さんが病气やけがをしたときに、安心して医療を受けられるための助け合いの制度です。昨年度の国民健康保険と後期高齢者医療保険の決算の概要をお知らせします。

国民健康保険事業

東日本大震災の影響を受けた昨年度の国保事業は、減免により国保税が減額に、一部負担金の免除により保険給付費が増額になりましたが、震災にかかるこれらの増減額が国庫補助金で全額補てんされたことから、約二億三千万円の繰越金が生じるなど、安定した財政運営をすることができました。

また、一般会計などからの繰入金は一億五千九百六十八万円の前年度比五・一割の減となっています。

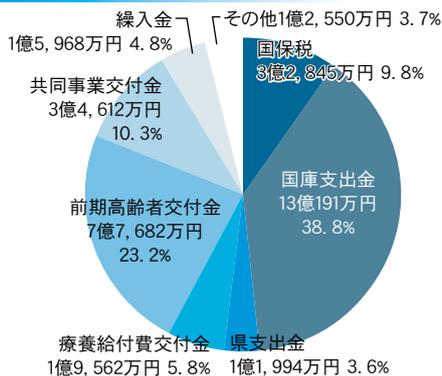
歳出

歳出は、保険給付費が二十二億三千九十六万円の前年度比十・七割の増となり、一人当たり医療費は前年度と比較して二万八千四百四十七円増加し、二十八万二千八百七十六円となりました。

また、後期高齢者支援金などが加入者一人当たりの負担額の増により三億三千七百二十一万円と前年度比四・九割増加したことなどから、歳出総額は三十一億千六百九十四万円と前年度比六・九割の増となりました。

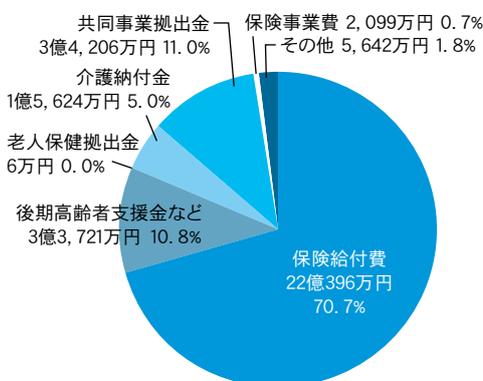
歳入のうち、国保税は三億二千八百四十五万円と前年度比四十三・九割の減となりましたが、国庫支出金が十三億百九十一万円と前年度比六十五・八割の増となったことなどから、歳入総額は三十三億五千四百四十四万円と前年度比十五割の増となりました。

歳入



歳入合計 33億5,404万円

歳出



歳出合計 31億1,694万円

※ 平成22年度においては、東日本大震災の影響により財務会計数値を使用しています。

【歳入】

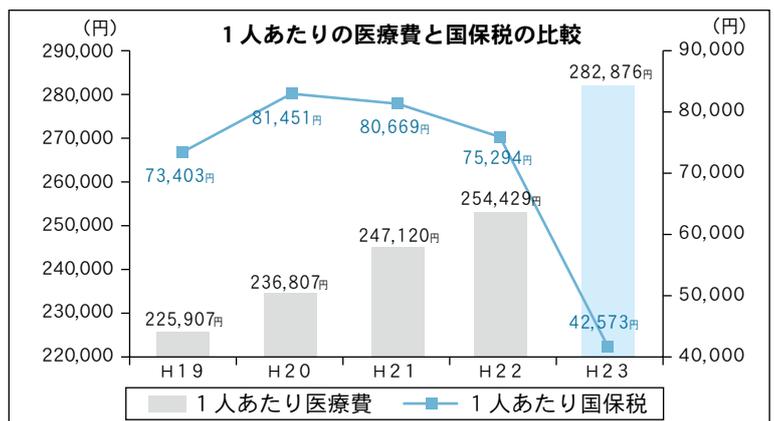
(単位: 万円)

項目	平成23年度	平成22年度	前年度比
国保税	32,845	58,556	-43.9%
国庫支出金	130,191	78,508	65.8%
県支出金	11,994	12,987	-7.6%
療養給付費交付金	19,562	15,448	26.6%
前期高齢者交付金	77,682	68,323	13.7%
共同事業交付金	34,612	31,581	9.6%
繰入金	15,968	16,834	-5.1%
その他	12,550	21,243	-40.9%
歳入計	335,404	303,480	10.5%

【歳出】

(単位: 万円)

項目	平成23年度	平成22年度	前年度比
保険給付費	220,396	199,142	10.7%
後期高齢者支援金など	33,721	32,153	4.9%
老人保健拠出金	6	70	-91.4%
介護納付金	15,624	14,866	5.1%
共同事業拠出金	34,206	34,684	-1.4%
保健事業費	2,099	2,692	-22.0%
その他	5,642	7,871	-28.3%
歳出計	311,694	291,478	6.9%



後期高齢者医療保険事業

昨年度の後期高齢者医療保険事業は、被保険者数は減少したものの医療費が増加しましたが、保険料の減により広域連合納付金(※1)も減少したため、歳入歳出の調整を行うための一般会計繰入金も減額に転じました。

また、広域連合が支払った本市分の医療給付費(※2)は一部負担金の免除により増加しました。

歳入

歳入は、東日本大震災による減免により、後期高齢者医療保険料が七千二百七十五万円で前年度比五〇・三割減少したこと、歳入総額は一億三千五百五十七万円で前年度比三十七・四割の減となりました。

また、一般会計からの繰入金は一億六千九十九万円で前年度比一・〇割の減となっています。

歳出

歳出は、後期高齢者医療広域連合納付金が一億三千百三十五万円で前年度比三十八・

三割減少したこと、歳出総額は一億三千五百五十七万円で前年度比三十七・四割の減となりました。

▽一人あたり医療給付費が増加傾向

昨年度に県後期高齢者医療広域連合が支払った本市分の医療給付費の総額は、二十四億六千六百七十七万円で、一人あたりに換算すると年間六十一万円になりました。

後期高齢者医療制度が始まった平成二十年度から年々増加傾向にあります。

▽保険料は納期内納入を

保険料は、後期高齢者医療被保険者の医療費に充てられる貴重な財源です。今年度の保険料は、年金からの引き去りを受けられる人については、第三期目まで納付書による納付となり、第四期目以降は年金からの引き去りが始まっています。年金からの引き去り対象となっていない人などは、口座引落しを希望する人は、金融機関窓口で手続きを行ってください。十分な給付が受けられるよう、保険料は納期内に納めましょう。詳しくは、健康推進課国保係(内線140・141)まで。

【歳出】

(単位:万円)

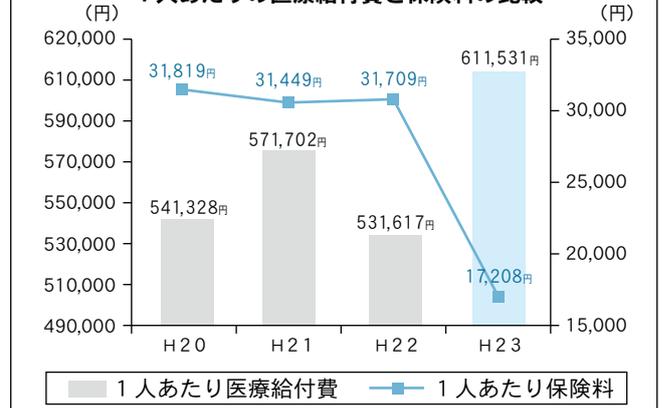
項目	平成23年度	平成22年度	前年度比
総務費	422	381	10.8%
広域連合納付金	13,135	21,279	-38.3%
歳出計	13,557	21,660	-37.4%

【歳入】

(単位:万円)

項目	平成23年度	平成22年度	前年度比
保険料	7,275	14,644	-50.3%
使用料・手数料	0	5	-100.0%
繰入金	6,199	6,967	-11.0%
諸収入	83	44	88.6%
歳入計	13,557	21,660	-37.4%

1人あたりの医療給付費と保険料の比較



【用語説明】

※1 広域連合納付金とは、納付いただいた保険料などを岩手県後期高齢者医療広域連合に納付するお金のことで、後期高齢者医療被保険者の医療費の一部に充てられています。

※2 医療給付費とは、療養給付費(医療費総額から患者一部負担金を引いた保険者負担分)、療養費および高額療養費の合計です。

活用しよう

ジェネリック医薬品

ジェネリック医薬品(後発医薬品)とは、新薬の特許が切れてから作られた薬です。新薬と同等の有効性や安全性が確認され、厚生労働大臣から承認された薬だけが流通しています。

ジェネリック医薬品に変更すると、新薬と効き目は同じですが、開発コストがかかっていない分薬代が安く済みます。

ただし、現在服用中の薬が特許期間中の場合や、薬局に希望するジェネリック医薬品の在庫がない場合など、ジェネリック医薬品にすぐ変更できない場合もあります。

ジェネリック医薬品に変更するには、医師や薬剤師に相談するか、受診の際、ジェネリック医薬品希望カードを提示しましょう。

ジェネリック医薬品希望カードは、九月に郵送した国民健康保険被保険者証または後期高齢者医療被保険者証に同封しています。健康推進課国保係窓口にも備えてあります。

詳しくは、健康推進課国保係(内線140・141)まで。

慶 弔 (届出日：11/16～12/15)

◇出生 () は字名・保護者・出生日

- 矢作 佐々木 美 空 (神明前・信行・11/20)
- 横田 佐々木 里 桜 (狩集・大介・11/18)
- 竹駒 …
- 氣仙 …
- 高田 本 多 このは (中和野・文武・12/11)
- 米崎 村 上 蒼 (和野・裕文・11/27)
- 小友 …
- 広田 村 上 銀 次 (山田・一朗・11/30)
- 金 野 悠 真 (長洞・景・12/6)

◇おくやみ () は字名・年齢・死亡日

- 矢作 吉 田 ヨシヘ (雪沢・91・11/17)
- 佐 藤 ミノル (二又・95・11/19)
- 伊 藤 清治郎 (諏訪・86・12/11)
- 横田 遠 藤 哲 雄 (久連坪・91・12/14)
- 竹駒 三 浦 子トミ (下壺・94・11/17)
- 佐 藤 重 幸 (下壺・87・12/6)
- 大 坂 登 (細根沢・79・12/11)
- 菅 野 敏 子 (細根沢・82・12/13)
- 氣仙 村 上 初 雄 (中井・88・11/20)
- 菅 野 ク ラ (要谷・96・12/10)
- 高田 萩 島 澄 子 (鳴石・67・11/27)
- 熊 谷 貞 雄 (太田・95・12/3)
- 村 上 隆 男 (中宿・79・H23.3/11)
- 小 友 勝 子 (鳴石・86・12/3)
- 遠 藤 アイ子 (山苗代・74・12/14)
- 米崎 千 葉 勇 一 (和野・76・11/25)
- 上 野 新 吾 (川西・82・11/29)
- 小友 千 葉 勝 男 (茗荷・86・11/18)
- 小 松 則 子 (財当・58・12/2)
- 広田 吉 田 勝 男 (中沢・82・11/19)
- 西 條 トミ子 (田端・91・11/29)
- 菅 野 一 (根岬・83・12/3)
- 佐 藤 クニヨ (田端・92・12/5)
- 伊 勢 カヨ子 (蒲田・75・12/6)

書類の準備をお願いします
平成二十四年度の確定申告

申告書作成会場は、大船渡金融機関などからのローン

【住宅の新築などを行った皆さんへ】
金融機関などからのローン



きくち ふうご ちゃん



きくち きょうへい ちゃん



おかだ まな ちゃん

税務署庁舎一階です。

▽開設期間 一月二十八日(月)～三月十五日(金)

※土・日・祝日を除く。

▽受付時間 午前九時～午後四時(開場 午前八時三十分～午後五時)

【東日本大震災により被害を受けた皆さんへ】
住宅や家財などに損害を受けた人は、所得税の軽減を受けられる場合があります。

(注)平成二十四年度で雑損控除の繰越損失の申告をする人は、平成二十三年分の確定申告書(控)、または平成二十三年分更正通知書(通知書)が送付された人を持参してください。

【住宅の新築などを行った皆さんへ】
金融機関などからのローン

遠野市では、冬期間の小中学生の体力向上の一環として、赤羽根スキー場のリフト

を利用して、住宅の新築(取得)や改修を行った人は、所得税の税額控除(住宅借入金等特別控除)を受けられる場合があります(認定住宅などの該当要件によっては、ローンなしの場合も可)。

▽相談などの集中対応期間 一月二十八日(月)～二月八日(金)

(注)必要書類などについて、事前に電話で問い合わせください。

詳しくは、大船渡税務署(☎26-13481、自動音声で案内)まで。

小中学生は無料に
赤羽根スキー場リフト利用料

無料法律電話相談
被災された皆さんへ

利用料を日時限定で無料とします。

なお、利用を予定している場合は、事前に赤羽根スキー場(☎0198-1651-3343)に営業日を確認してください。

▽期間 三月十日(日)までの土曜日午前九時から午後一時

詳しくは、遠野市生涯学習スポーツ課(☎0198-16214413)まで。

被災された皆さんへ
無料法律電話相談

▽実施期間 毎週月曜から金曜日の午前10時から午後一時(祝日を除く)

▽相談内容 自宅が亡くなった祖父の名義のままになっている、相続人の中に行方不明者がいて話し合いができません

詳しくは、健康推進課係(内線242)まで。

県立高田病院の整備について
住民意見交換会を開催

どなたでも参加できます。

▽日時 一月二十日(日)午前十一時

▽場所 市役所三宮棟第三会議室

詳しくは、健康推進課係(内線242)まで。

い、亡くなった父親に借金があることが判明した、など

▽電話番号 ☎0120-8231815(フリーダイヤル)

詳しくは、県司法書士会事務局(☎019-1622-3372)まで。

県立高田病院の整備について
住民意見交換会を開催

どなたでも参加できます。

▽日時 一月二十日(日)午前十一時

▽場所 市役所三宮棟第三会議室

詳しくは、健康推進課係(内線242)まで。

県立高田病院の整備について
住民意見交換会を開催

どなたでも参加できます。

▽日時 一月二十日(日)午前十一時

▽場所 市役所三宮棟第三会議室

詳しくは、健康推進課係(内線242)まで。

派遣職員紹介 ⑮

都市計画課 主事
蓬田 次郎 さん



プロフィール 蓬田 次郎 (よもぎだ じろう)

金ヶ崎町出身。大学を卒業後、岩手県庁に入庁し市町村課に配属される。その後、大船渡土木センターで主に道路の維持管理を担当。発災直後は、がれき撤去のために重機を手配したり、学校給食センターで物資担当をしたりと本市の支援にあたる。仮設住宅の申込受付などを経て、昨年五月から正式に本市派遣職員になり、被災者支援室で義援金の支給などを担当。本年度は都市計画課に配属され、都市計画決定や防災メモリアル公園の構想策定、奇跡の一本松の保存などに従事している。

発災直後は、職場の大船渡合同庁舎が避難所になったため、避難者の対応にあたりました。街中にながれきが散乱していたので、最初の十日間は重機の手配や燃料の確保に追われていました。その後、三月下旬から仮設住宅入居の申込受付、被災者支援室に配属されてからは義援金の申請受付などを担当し、被災者の方々の相談に耳を傾けてきました。当初は市役所が混雑して、申請するのに二時間待ちという状態でしたが、被災者の皆さんが落ち着いて対応されているのを見て、気仙の人はたくましいとつくづく感じました。

最近では、がれきも少しずつ片付き、店舗の再建も進んでいます。が、住居の再建には時間を要するため、申し訳ない気持ちでいっぱいです。そのような中で、高田・今泉地区の区画整理や防災メモリアル公園などの都市計画決定を今年二月に行う予定です。防災メモリアル公園のあり方については、現在市民の皆さんのご意見を募集しています。都市計画はとても大きな事業で、物事を一気に進めるのが難しいわけですが、一日も早くまちづくりの再生が進むよう努めてまいります。

数字で見る陸前高田市

市内の火災救急活動 (11月)
() は1月からの累計

- ◆建物 0件 (4件)
- ◆林野・その他 0件 (5件)
- ◆出動件数 45件 (668件)
- ◆搬送人員 44人 (676人)

市の人口 (11月30日現在)
◎住民登録人口 () 内は前月比

- 男 9,972人 (-13)
- 女 10,765人 (-1)
- 計 20,737人 (-14)
- ※前年同月との比較 (-371)
- 世帯数 7,485世帯 (+3)

市内の交通事故 (11月)
大船渡警察署調べ。() は1月からの累計

- ◆人身事故 6件 (34件)
- ◆物損事故 31件 (334件)
- ◆負傷者 6人 (38人)
- ◆死亡者 1人 (2人)
- ◆飲酒運転 1人 (3人)